

《担当者名》 坂倉康則 丸川活司 近藤 啓 江本美穂 高橋祐輔 入江一元(歯) 渋井 徹(歯) 高橋昌己(歯)

【概要】

解剖学 ・ で学んだ知識を基本としながら、人体模型と人体解剖学見学実習で観察する臓器の正常な構造により正確な人体構造を理解するとともに、見学実習を通して人体の複雑な構造を器官系統別に整理統合し、人体の構成と構造における共通性を理解する。本実習では1)人体模型と実際の臓器の観察、2)組織切片標本の観察から、それがどの器官の組織かを類推できる能力、3)組織構造の中から重要な所見を抽出し、記録する能力、4)スケッチをすることで詳細な観察とそれによる形態学的な特徴の理解、その特徴を表現する能力を養う。

【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と技術を習得するために、人体解剖学、組織学の概要を理解する。
- 2) 臨床検査のスペシャリストとして、人体の複雑な構造を器官系統別に整理統合し、人体の構成と構造を理解する。
- 3) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、人体の構成と構造からの的確な判断ができる能力を身につける。
- 4) 人体の臓器の名称、配置および構造について理解し説明できる。
- 5) 各種正常臓器の組織、細胞の構成を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	・ ガイダンス ・ 呼吸器	・ 組織学実習の進め方について。 ・ 顕微鏡の取り扱いについて。 ・ 呼吸器系の正常組織標本を観察 キーワード：組織学、顕微鏡、気管、肺、胸膜 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P139-148 「入門組織学 第2版」：P199-210	丸川活司 近藤 啓
3) 4	・ 循環器 ・ 造血器	・ 循環器系の正常組織標本を観察 ・ 造血器系の正常組織標本を観察 キーワード：血管、心臓、骨髄、脾臓、リンパ節 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P87-116 「入門組織学 第2版」：P103-146	丸川活司 近藤 啓
5) 6	・ 皮膚 ・ 歯 ・ 支持組織 ・ 筋組織	・ 支持組織、筋組織標本を観察 キーワード：結合組織、筋組織、皮膚、歯、骨、 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P17-24 「入門組織学 第2版」：P45-80	丸川活司 近藤 啓
7) 8	・ 泌尿器	・ 泌尿器系の正常組織標本を観察 キーワード：腎臓、尿管、膀胱、尿道 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P155-160 「入門組織学 第2版」：P211-226	丸川活司 近藤 啓
9) 10	・ 消化器	・ 消化器の正常組織標本を観察 キーワード：舌、唾液腺、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、虫垂 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P119-132 「入門組織学 第2版」：P148-183	丸川活司 近藤 啓

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
11) 12	・消化器	・消化器の正常組織標本を観察 キーワード：肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P133-138 「入門組織学 第2版」：P183-198	丸川活司 近藤 啓
13) 14	・人体解剖学見学実習ガイダンス (出席必須)	・医学における解剖学教育が日本特有の献体という行為と篤志によって支えられていることを理解する。 ・人体解剖学見学実習は献体された方のご遺志とご遺族のご理解に基づき実施されることを理解する。 ・生命の尊厳と医の倫理について医療人としての自らの考えを深化させる。 キーワード：献体、人体解剖、生命の尊厳	坂倉康則
15) 16	・人体解剖学見学実習	・解剖体や剖出標本に実際に手に取り触れ、人体の構成と臓器特有の構造について説明できる。 ・人体解剖学見学実習を通して人の死に向き合い、生命の尊厳について深く考えるため、レポートをまとめる。 キーワード：人体解剖、生命の尊厳、医の倫理	坂倉康則 入江一元 丸川活司 近藤 啓 江本美穂 高橋祐輔 渋井 徹 高橋昌己
17) 18	・生殖器	・生殖器の正常組織標本を観察 キーワード：精巣、前立腺、子宮、卵巣、胎盤 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P161-168 「入門組織学 第2版」：P227-265	丸川活司 近藤 啓
19) 20	・内分泌系	・内分泌系の正常組織標本を観察 キーワード：甲状腺、上皮小体、副腎、下垂体 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P149-153 「入門組織学 第2版」：P268-293	丸川活司 近藤 啓
21) 22	・神経系	・中枢神経系と末梢神経の正常組織標本を観察 キーワード：大脳、小脳、延髄、脊髄 「最新 臨床検査学講座 解剖学」：P169-190 「入門組織学 第2版」：P83-101	丸川活司 近藤 啓
23) 24	・理解度確認テスト	・ティーチング標本による確認テスト	丸川活司 近藤 啓

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ハンドアウト・スケッチレポート50%、定期試験50%

【教科書】

秋田恵一、星 治 著「最新 臨床検査学講座 解剖学」医歯薬出版 2019年
牛木辰男 著 「入門組織学 第2版」 南江堂 2018年

【参考書】

ジュンケイラ組織学 第5版（原書14版）丸善出版 2018年
Ross組織学 原書第7版 南江堂 2019年

【備考】

組織学実習用ハンドアウト

適時、プリント等の資料を配布する

組織学実習に色鉛筆を使用するため各自用意する

【学修の準備】

- ・ 人体解剖学見学実習への参加は事前に開催される実習ガイダンスの受講が倫理教育にとって必須である。
- ・ 第1学年で修得した人体構造の器官系と、各器官系を構成する各臓器の特徴的な構造についてしっかり復習しておく。
- ・ 実習前に実習予定の教科書範囲を予習しておく（Google Formにて予習課題の提出）。

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

（DP4）臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

入江一元（歯科医師）、渋井 徹（歯科医師）、高橋昌己（歯科医師）、丸川活司（臨床検査技師）、近藤 啓（臨床検査技師）、高橋祐輔（臨床検査技師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、高度に専門化し複雑化した医療の分野にあたり、専門職業人としての理念と方法、その具体的な実践に関して講義する。